こんな活動です

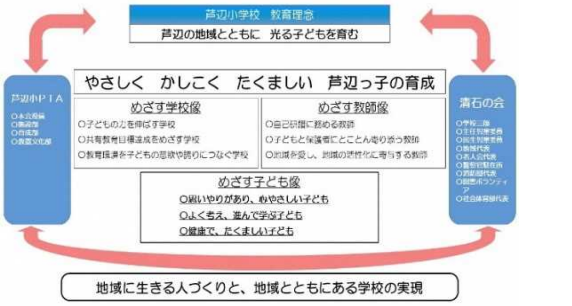
地域に生きる人づくりと地域とともにある学校の実現
～学校支援会議「清石の会」とともに～

長崎県壱岐市	●活動名	●関係する学校名
	学校支援会議「清石(くよし)の会」	壱岐市立芦辺小学校

協働活動開始年度	平成 26 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	5 学級	のべ児童・生徒数	47 人
活動区分	学校支援活動		―		地域人材育成		
	―		―		外部人材を活用した教育支援活動		
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		
	1人				1人		
学校運営協議会	指定・設置日		ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携		
	平成31年4月1日設置予定			40人	無		
参考URL	http://www.city-iki.jp/~ashibe-syo/						

●連絡先 壱岐市立芦辺小学校 ☎ 0920-45-0323

●体制図



●活動の概要・経緯

学校支援会議「清石の会」は、学校・家庭・地域が一体となり、三者が有する教育力を結集し、「やさしく、かしこく、たくましい」芦辺っ子を育むための活動を推進することを目的として結成された。構成員は、学校三師、主任児童委員、民生児童委員、PTA本会役員、地域代表者、老人会代表、校区駐在警察官、校区消防団代表、図書ボランティア代表、社会体育部代表等である。学校側からは校長、教頭、教務主任が参加する。

地域の窓口として地域コーディネーターが「清石の会」に在籍し、学校と地域・関係団体をつなぐ役割を担っている。年間6回の定例会を開催し、各専門部の活動内容を計画・検証したり、学校の運営状況や子供たちの様子について熟議を行ったりしている。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

①「フラワーストリート運動」：芦辺のまちを明るく元気にするために、清石の会、PTA、地域老人会、学校の協働による植栽活動を行う。春と秋の年間2回、約180鉢のプランターに花の苗を植えて地域のメインストリートに設置している。

②なかよし集会：「芦辺っ子の心を見つめる教育週間」に、「清石の会」も参加してなかよし集会を実施し、児童と一緒に活動したり、会員の紹介を行ったりしている。

③フィールドワーククラブ：郷土を知り、郷土を愛する基盤を培うために正課クラブで実施してる。

④学校評価：年度末の定例会では、学校評価の結果をもとに、地域や家庭、学校での子供たちの成長の様子について考察し、次年度の教育活動の方向性について協議を行っている。

【実施に当たっての工夫】

地域コーディネーターが、地域の人・物・事に精通しており、学校コーディネーター（教頭）と連絡調整を行いながら、学校が必要とする人材や教材を提供できるようにしている。また、地域の各種団体役員が「清石の会」会員として参加することで、PTA、青少年健全育成協議会、老人会、関係機関と連携しており、学校・家庭・地域が一体となった活動が円滑に推進できる。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

定例会における熟議では、学校外での子供たちの状況について、様々な情報が寄せられる。学校や清石の会会員、PTA会員、地域老人会等の組織が協働することにより、これまで以上に児童の成長に関心を持つ人が増え、地域総がかりで積極的に学校教育活動に関わっていこうとする気運が高まっている。

子供たちは、「フラワーストリート運動」や「フィールドワーククラブ」などの地域との協働活動を通して、地域の発展を願い、地域をよりよくするために活動する人たちの思いに直接触れることにより、「自分たちも芦辺の町を大切にしていきたい。」という心情を高めている。

● その他

地域の偉人を大切にする心を、子供たちが清石の会会員とともに高めたり、「いのちを大切にする」読み聞かせイベントを図書ボランティアが行ったりしている。

真辺貞雄訓導慰霊碑訪問での追悼歌の紹介

図書ボランティア「マザーグース」による生命尊重読み聞かせイベント